

表題：デジタルサイネージ緊急時対応対策会議 議事録

日時：

2011/5/26（木）09:15～12:00

会場：

三菱電機(株)様 本社 4F プラザ E

進行：江口 靖二 氏（DSC 常務理事）

プレゼンテーション：新館 俊輔 氏（日本情報流通(株)）

I. 議題

- (1) 東日本大震災におけるデジタルサイネージの対応状況の共有
- (2) 災害時に必要なコンテンツ
- (3) 節電に対するデジタルサイネージの対応

II. 内容

1. 災害対応について

サイネージは災害時に役に立つものでなければならない。特に、コンテンツの話で言えば、時間と場所=状況に応じた出し方が必要である。2つの方向性があり、1つは、比較的、大規模で既存のもので信頼出来る情報をサイネージに配信するもの。もう1つは、避難経路等、ローカルな情報を配信するものである。今回の震災で、サイネージが情報提供に役立った例は多数あった。

その他、フローとストック型の情報の切り分けがある。先端的なユーザーにはマニュアルがあるが、場当たりの対応しなければならないこともある。マニュアルやガイドラインをコンソーシアムが示すというのは比較的簡単にできるだろう。

また、サイネージに関する問い合わせ先シール等を作る必要があるだろう。

2. 節電対応について

災害時の運用マニュアルをまとめることを検討する。

節電については具体的な指標を出すのではなく、対外的に、災害時のサイネージの有用性等の社会貢献性をアピールしていく必要がある。そして、サイネージ関係者が同じ方向性を示して行けるよう議論を進める。

3. 今後について

次回、6月9日にDSJ会場にて、今回の内容をもとに引き続き議論をパネル形式で進める。プレスを呼び、対外的なメッセージを発信する。

以上